

# ふれあい つながり かわら版

## 第2回小中一貫教育推進担当者会

### 地域・家庭との共有と連携

8月7日(水)に第2回担当者が実施されました。これからの学校教育は、教職員だけでなく、教職員・保護者・地域住民など、子供に関わる全ての人々が手をとり合って進めることが求められています。今回のかわら版では、「**地域・家庭との共有と連携**」を視点を、三つのブロックの実践発表の一部を紹介します。

### 花田中学校ブロック キャリア教育

花田中学校ブロックは、3年前から、4月は「自分の夢」、3月は「1年間を振り返って」について、キャリアパスポートを作成しています。子供の3年間の変容について、3年間同じ夢を持ち続ける児童や、毎年夢が変わっていく児童のキャリアパスポートを例に、自分のことを知り、これからの将来について考えが深まる様子の紹介がありました。  
この取組は、**保護者から温かいコメントをもらうこと**により、**自尊心が高まること**から、**家庭との連携が大切**と報告がありました。

6年

★しょう来の夢は何ですか

建築士(1級)

建築士(1級)

★なぜ、その思いですか

代々建築士の人が続いているので、自分も建築士になりたいです。建築士の人が続いているので、自分も建築士になりたいです。

★ある人ががんばるために、チャレンジしたいことを書いて

算数や理科の勉強をがんばりたいです。他の算数の勉強もがんばりたいです。

★お家の人から

お家の人が続いているので、自分も建築士になりたいです。建築士の人が続いているので、自分も建築士になりたいです。

姫路市教育委員会  
学校指導課  
小中一貫教育推進係  
(079)221-2120



### 家島中学校ブロック ネット環境共同宣言

家島では少子化が進み、外で野球やサッカーなどをして遊ぶ子供が減り、家でスマホやタブレットをすることで、課金やSNS等の使用によるトラブルが発生しています。このような実態に対し、児童生徒によるスマホの作りを進め、クリアファイルを作成しました。家島は島全体で子供達を見守り、育てていこうとする考えが定着しているため、**クリアファイルを配布し、家庭や地域に対する周知を図っています。**

家島っ子 ネット環境共同宣言2018

安全に使う  
課金・・・親と相談  
目を守る・・・明るいところで目からはなす  
年齢制限・・・親と相談

時間を考える  
使う時間  
小学校・・・平日1時間半まで  
中学校・・・休日の3時間まで  
伝える時間  
小学校・・・21時まで  
中学校・・・23時まで

言葉を選ぶ  
分かりやすい言葉を使う  
悪口は書かない  
送る前に文章を確認する

### 広嶺中学校ブロック フラントカリキュラム

広嶺中学校ブロックでは「分離型ならではの小中一貫教育の推進」に取り組み、形ではなく、ねらいに立脚した日常的な実践を目指しています。

「地域・家庭との共有と連携」については、**学校だよりやパネル展示により、随時、新鮮な内容を「見える化」した広報に努めています。**

また、日々の授業をつながりのあるものとするため、目指す子供像の実現に向け、コミュニケーション能力など、汎用的な資質・能力ベースで教科横断的な

教育課程Ⅱブランドカリキュラムを作成しています。カリキュラムで「目指す子供像」を共有することは、教科・領域を超えた教職員の協働を進めるだけではなく、**子供の学習に対する保護者や地域住民の主体的な関わりを生み出します。**地域や家庭との協働を見据え、新たなステージへ向かう様子が伝わる発表でした。

【協働】 同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと

学校・家庭・地域との協働に向けて、地域住民や保護者は学校とねらいを共有することで、主体的に取り組むことができます。その核となるのは保護者や地域住民と接している、個々の教職員です。まずは、ブロックの教職員における、「ねらい」の共有からはじめ、学校・家庭・地域の協働に向けた取組に拡げていきたいと思います。

#### 学校・家庭・地域の協働に向けて



担当校長あいさつより  
小学校の先生と中学校の先生が交流し、一緒に汗をかいて働くことで新しいものが生まれます。全ては子供のために、変わることを恐るることを恐れずに取り組んでいきたいと思います。

広嶺中学校ブロックブランドカリキュラム

にんげん領域 (特別支援, 特別活動, 生活・総合, 道徳)

ことば・くらし領域 (国語, 社会, 外国語活動, 外国語, 英語)

すう・かがく領域 (算数, 数学, 理科)

けんこう・けいめい領域 (体育, 保健体育, 家庭, 技術家庭, 図画工作, 美術)